

# ELECOM

## マルチデバイスタイプ Bluetooth® キーボード TK-MBD041 シリーズ 詳細補足マニュアル

このたびは、エレコム マルチデバイスタイプ Bluetooth® キーボード “TK-MBD041” シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

“TK-MBD041” シリーズは、Bluetooth® 無線技術に対応したワイヤレスキーボードです。Bluetooth® ハンズフリーフォンとしても使用できます。

このマニュアルで “TK-MBD041” シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。

※このマニュアルでは一部の表記を除いて “TK-MBD041” シリーズを「本製品」と表記しています。

### もくじ

安全にお使いいただくために	2
ワイヤレス(無線)についての注意事項	2
パッケージ内容の確認	2
各部の名称とはたらき	3
本製品を使用するまでの流れ	4
キーボードを充電する	4
電源を ON/OFF する	4
ペアリングする	5
iPhone/iPad/iPod touch で使用する	5
docomo GALAXY Tab SC-01C で使用する	6
キーボードを操作する	7
機能一覧	7
キーボードモードでの操作	7
電話をかける／受ける	8
電話を受ける	8
電話をかける	8
受発信履歴から電話をかける	8
音楽を聴く	9
音楽を聴く	9
音楽再生時の操作	9
トラブルシューティング	10
基本仕様	11
その他の機器で使用する	11

## 安全にお使いいただくために

### ■ 絵表示の意味

	<b>警告</b> この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	<b>注意</b> この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

-  「してはいけないことを示します。
  -  「しなければいけないこと」を示します。
  -  「注意していただきたいこと」を記載しています。
  -  「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

### ⚠ 危険

-  **同梱の充電用ケーブルを使用し、当社指定の充電条件を守ってください。**  
その他の充電ケーブルまたは条件で充電すると、充電電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
-  **本製品の分解・改造・修理などをしないでください。**  
火災・感電・故障などの原因となります。故障時の保証の対象外となります。
-  **液もれた場合は使用しないでください。**  
内蔵の充電電池より液もれがあった場合は、液もれた充電電池は使用しないでください。発熱、破壊させる原因となります。
-  **本製品の異常に気づいたら使用を中止してください。**  
液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、発熱、破裂するおそれがあります。
-  **本製品から漏れた液が体や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。**  
内蔵の充電電池の中の液が皮膚や衣服につくと、皮膚に傷害をおこす原因となります。
-  **内蔵の充電電池の中の液が目に入った場合は失明の原因になることもあるので、こすらずにすぐに綺麗な水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。**
-  **ぬれた手で本製品を抜き差ししないでください。**  
感電やケガをすることがあります。
-  **決められた電圧でご使用ください。**  
範囲外の電圧で使用すると、発熱、発火、感電、ケガの原因になります。

### ⚠ 警告

-  **本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止してください。**そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認してください。**そのあとで、お買い上げの販売店またはエレクトロム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。**  
万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、本製品の電源をOFFにしてください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレクトロム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
-  **本製品を火中に投入しないでください。**  
破裂により火災やけがの原因になります。
-  **車の運転中には使用しないでください。**また、歩行中でも駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよく確認ください。
-  **本製品を高温の車中に長時間放置しないでください。**内蔵の電池の破裂・発火・故障の原因となります。

### ⚠ 注意

-  **本製品を次のようなところには置かないでください。**
  - 日のある自動車内、直射日光のあたるところ
  - 暖房器具の周辺など高温になるところ
  - 多湿なところ、結露をおこすところ
  - 平坦でないところ、振動が発生するところ
  - マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
  - ほこりの多いところ
-  **本製品は防水構造ではありません。**水などの液体がかからないところで使用または保存してください。  
雨、水しびき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
-  **本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。**  
● 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

### ■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

-  **シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。**

## ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を採用し、干渉距離は10mです。

2.4GHz帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くに「他の無線局\*」が運用されていないか確認してください。
  - 万一、本製品と「他の無線局\*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
- \*「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

### ⚠ 警告

-  **誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。**まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する。動作が低下する、または動作しなくなる場合があります。
  - 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
  - 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式キーボードを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。
- ※ 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

## パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不用品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレクトロム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- キーボード本体..... 1個
- 充電用USBケーブル [USB A ⇄ micro B] (0.1 m) ... 1本
- ユーザーズマニュアル(本体付属の紙マニュアルです) ... 1部

# 各部の名称とはたらき

## ロック

約3秒長押しすると、本製品にロックがかかりキー操作を受け付けなくなります。もう一度、約3秒長押しするとロックを解除します。



ロック中でも着信した電話に応答することはできます。

## 有機ELディスプレイ

- 電池残量、ペアリングモード中の状態、接続先の機器番号、発信先の電話番号、音量などを表示します。

## LEDランプ

- 充電中、ランプが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプは青色の点灯に変わります。
- 使用中に内蔵電池の残量が少なくなると赤色に点滅します。
- ペアリング待機状態のとき、ランプが青色に点滅します。
- 省電力モードのとき、ランプが青色に1秒間隔で点滅します。

## φ 3.5mm イヤホンジャック

φ 3.5mm ステレオミニプラグを搭載したイヤホンのプラグを差し込みます。



- 本製品にφ 3.5mm ステレオイヤフォンは付属していません。
- マイク付イヤフォンをお使いの場合でも、マイク機能はお使いになれません。キーボード本体のマイクをお使いください。



## 充電用コネクタ

## Fn キー (ファンクションキー)

- キーボードモードのときに、文字のアルファベットモード / 数字モード を切り替えます。
- のときは文字入力キーの下段に記載された文字を、 のときは文字入力キーの上段に記載された文字を入力します。

## 数字キー

ハンズフリーモードで、電話番号の入力に使用します。

## 通話受信/送信キー

- 着信した電話に出るときに押します。
- ハンズフリーモードに切り替えます。
- ハンズフリーモードで、電話番号を入力した後押しすると、電話を発信します。
- ハンズフリーモードで、長押しすると発信履歴を表示します。

## 通話切断 / 電源キー

- 約3秒長押しして、電源をオン/オフします。
- ハンズフリーモードで、通話を終了します。

## スペースキー

- キーボードモードのときに、空白を入力します。
- キーボードモードのときに、未確定文字を変換します。
- ミュージックモードのときに、再生中の音楽を一時停止 / 再生します。

## ペアリング

キーを押しながら押し続けると、ペアリングモードになります。

## 振動 ON/OFF キー

長押しすると、バイブレーションモードになります。バイブレーションモード中に長押しすると、通常モードに戻ります。

## スピーカー

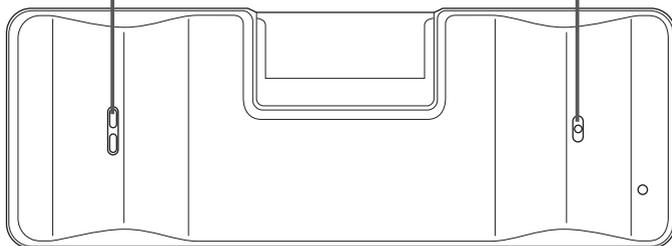
ハンズフリーモードで接続時に、通話するためのスピーカーです。



ミュージックモードの音声は、聞こえません

## マイク

ハンズフリーモードで接続時に、通話するためのマイクです。



# 本製品を使用するまでの流れ

本製品をはじめて使用するときは、次の順で本製品と接続機器を操作・設定します。

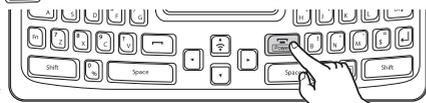
## 1 充電する

本製品を初めて使用するときは、最初に充電する必要があります。「キーボードを充電する」を参照して、充電して使用してください。



## 2 電源を入れる

キーを約3秒長押しして、電源を入れます。



3秒間長押し



## 3 ペアリングする

(裏面を参照してください。)

キーを押しながら、キーを押してペアリングします。



ペアリングの手順について詳しくは「ペアリングする」(→5ページ)をご覧ください。



## 4 キーボードを使用します

### キーボードを充電する

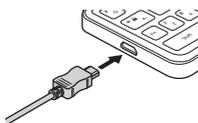
初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。

充電には付属の USB 充電ケーブルを使用します。



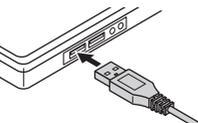
- 充電が完了するまで、約3時間かかります。
- 3時間経過しても充電表示ランプが消灯しない場合は、USB 充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。3時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。
- 家庭用コンセントから充電する場合は、エレコム製 USB 用 AC アダプタ(別売り)をお使いください。

- 1 本製品の充電用コネクタに付属の充電用 USB ケーブルの USB [micro B] コネクタを接続します。



- 2 USB 充電ケーブルの [USB A] コネクタをパソコンの USB ポートに接続します。

または、USB 用 AC アダプタを使用して家庭用コンセントから充電します。



コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。

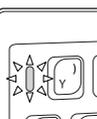
- 3 パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れます。



LCD ディスプレイの電池マークが充電中の表示に変わります。

LED ランプが赤色に点灯し、充電を開始します。

充電が完了すると、青色に点灯します。



所定の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

### 電源を ON/OFF する

- 電源を ON にする

本製品を使用するときは、キーボード本体の電源を入れます。

- 1 ボタンを約3秒長押しします。LCD ディスプレイが表示されます。

ELECOM



- 2 本製品とペアリング済みの接続機器を検索し、ペアリング済みの機器が接続可能な場合は、自動的に接続します。

Connecting...



Connecting...

Connect Fail



接続可能な機器がない場合は、待機モードになります。



省電力モードについて  
本製品は約30秒間操作をしないと、自動的に省電力モードに切り替わり、LED ランプが1秒おきに青色に点滅します。何かキーを押すと通常モードに復帰します。

- 電源を OFF にする

本製品を使用しないときは、キーボード本体の電源を切ることで電池を節約できます。

- 1 ボタンを約3秒長押しします。LCD ディスプレイが消えます。

Power Off



## ペアリングする

本製品と接続機器をBluetoothで接続するには、ペアリングをする必要があります。



- ペアリングとは、Bluetooth 機器同士をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作のことです。
- Bluetooth の機能を使用するには、接続機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により使用できる機能が異なる場合があります。

## iPhone/iPad/iPod touch で使用する

※以下は iPhone4 (iOS 5.1) の画面で説明しています。その他の機種でも手順は同じです。

※iPhone3GS、第3世代 iPod touch で使用する場合、iOS 4.0 以降にソフトウェアアップデートを行う必要があります。

ソフトウェアアップデート方法は、iPhone3GS、第3世代 iPod touch のマニュアルをご確認ください。

※本製品は、iPhone 3G、第1/第2世代 iPod touch では使用できません。

### 1 「設定」をタッチします。



### 2 「一般」をタッチします。



### 3 「Bluetooth」をタッチします。

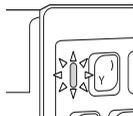


### 4 デバイスの検索中に、**[M]**キーを押しながら、**[C]**キーを押しペアリングモードにします。



キーボード本体の LCD ディスプレイのメッセージエリアに「Pairing」と表示されます。

ペアリング中は LED ランプが青色に点滅し、ペアリングが完了(手順7まで完了)すると消灯します。



### 5 「ELECOM TK-MBDO41 登録されていません」をタッチします。



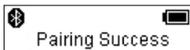
iPhone3GS、iPod touch でキーボードが見つからない場合、iOS 4.0 以降にソフトウェアアップデートされていることを確認してください。



### 6 本製品の接続を開始します。



### 7 「ELECOM TK-MBDO41」が「接続されました」となったらペアリングは正しくできました。



キーボード本体の LCD ディスプレイのメッセージエリアに「Pairing Success」と表示されます。



これで本製品を利用できます。

# docomo GALAXY Tab SC-01C で使用する

- 1** ホーム画面で[メニュー]キーを押して、「設定」をタップします。



- 2** 「無線とネットワーク」をタップします。



- 3** 「Bluetooth 設定」をタップします。



- 4** 「Bluetooth」にチェックが入って使用可能になっているのを確認します。

使用可能になっていない場合は、タップして使用可能な状態にします。



- 5** 「デバイス検索」をタップします。

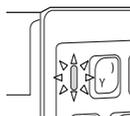


- 6** デバイスの検索中に、**[M]**キーを押しながら、**[S]**キーを押しペアリングモードにします。



キーボード本体の LCD ディスプレイのメッセージエリアに「Pairing」と表示されます。

ペアリング中は LED ランプが青色に点滅し、ペアリングが完了(手順**7**まで完了)すると消灯します。



- 7** 「ELECOM TK-MBD041」をタップします。



ポップアップが表示されたら、「承認」をタップします。



- 8** 「ELECOM TK-MBD041」が「電話とメディアオーディオに接続されました」となったら正しくペアリングできました。



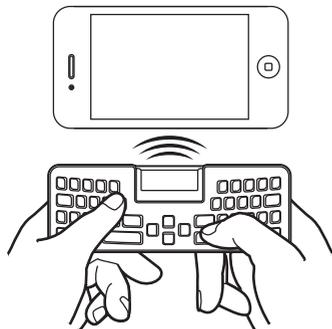
キーボード本体の LCD ディスプレイのメッセージエリアに「Pairing Success」と表示されます。



これで本製品を利用できます。

# キーボードを操作する

キーボードとして、文字入力ができます。



## キーボードモードでの操作

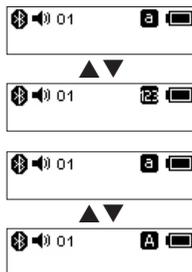
文字入力ができる状態で、文字キーを入力すると、自動的にキーボードモードになります。

### ■入力文字の切り替え

キーボードモードで文字入力中に、**[fn]**を押すごとに、アルファベットモード**[a]** / 数字モード**[123]**を切り替えます。

アルファベットモード**[a]**のときは、文字入力キーの下段に記載された文字を、数字モード**[123]**のときは文字入力キーの上段に記載された文字を入力します。

アルファベットモード**[a]**のときに、**[shift]**を押すと、押すたびに、小文字**[a]** / 大文字**[A]**を切り替えます。



### ■文字入力モードの切り替え

iPad/iPhone/iPod touch の文字入力モードを切り替えることができます。

キーボードモードで文字入力中に、**[fn]**と**[space]**を押すごとに、文字入力モードを切り替えます。



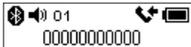
## 機能一覧

モード	機能	キーの操作
モード共通操作	電源オン	電源オフ時に <b>[power]</b> を約3秒長押し
	電源オフ	電源オン時に <b>[power]</b> を約3秒長押し
	ペアリングモード	<b>[fn]</b> を押しながら <b>[power]</b> を押す
	キーロックする	<b>[fn]</b> を約3秒長押し
キーボードモード	入力文字を切り替える	キーボードモードで、 <b>[fn]</b> を押す
	文字入力モードを切り替える	<b>[fn]</b> と <b>[space]</b> を押す (iPad/iPhone/iPod touch のみ)
ハンズフリーモード	電話を受ける	電話着信時に <b>[power]</b> を1回押す
	電話を切る	通話中に <b>[power]</b> を1回押す
	電話をかける	電源オン時に数字キーで番号を入力して <b>[power]</b> を1回押す
	バイブレーションモードにする	<b>[fn]</b> を約3秒長押し
ミュージックモード	音量アップ	ミュージックモードで、 <b>[shift]</b> を押しながら <b>[volume up]</b> を押す
	音量ダウン	ミュージックモードで、 <b>[shift]</b> を押しながら <b>[volume down]</b> を押す
	曲送り	ミュージックモードで、 <b>[shift]</b> を押しながら <b>[right arrow]</b> を押す
	曲戻し	ミュージックモードで、 <b>[shift]</b> を押しながら <b>[left arrow]</b> を押す
	再生 / 一時停止	ミュージックモードで、 <b>[shift]</b> を押しながら <b>[space]</b> を押す

# 電話をかける／受ける

## 電話を受ける

- 1** 着信があったら、を押します。

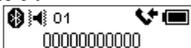


LCD ディスプレイに相手先の電話番号が表示されます。(相手先が「発信者番号通知する」にしている場合)



着信の確認は...

- ・携帯電話・スマートホンの着信音で確認します。
- ・ミュージックモードで、音声をステレオイヤホンで聞いている場合は、着信音が聞こえます。
- ・本製品をバイブレーションモードに設定しているときは、本製品が振動します。



- 2** 本製品で通話をします。



- 3** 通話が終わったら、を押します。



## 電話をかける

- 1** を押し、ハンズフリーモードにします。

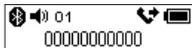


- 2** 数字キーで電話番号を入力します。



-  アルファベットモード  中は、電話番号が入力できません。  
 を押して数字モード  にしてから電話番号を入力してください。

- 3**  を押します。  
接続した機器から発信します。



- 4** 相手が電話に出たら、本製品で通話をします。



- 5** 通話が終わったら、 を押します。

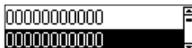


## 受発信履歴から電話をかける

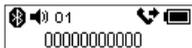
- 1**  を続けて2回押します。  
受発信リストが番号で表示されます。



- 2**  /  で通話先番号を選択します。



- 3**  を押します。  
接続した機器から発信します。



- 4** 相手が電話に出たら、本製品で通話をします。



- 5** 通話が終わったら、 を押します。



## 音楽を聴く

### 音楽を聴く

- 1 本製品のφ3.5mmイヤホンジャックに、φ3.5mmイヤフォンを接続します。



- 2 接続先機器で、音楽を再生します。



- 3 本製品で音楽を聴きます。



### 音楽再生時の操作

#### 音量を調整する

- 1 音楽などのメディアを再生中に、音量を大きくするには、**[SHIFT]**を押しながら**[7]**を押します。  
音量を小さくするには、**[SHIFT]**を押しながら**[6]**を押します。



#### 再生 / 一時停止する

- 1 音楽などのメディアを再生中に一時停止するときは、**[SHIFT]**を押しながら**[Space key]**を押します。  
もう一度**[SHIFT]**を押しながら**[Space key]**を押すと、再生を開始します。



#### 曲送り / 曲戻しする

- 1 音楽などのメディアを再生中に次の曲へ移動するときは、**[SHIFT]**を押しながら**[.]**を押します。  
音楽などのメディアを前の曲へ移動するときは、**[SHIFT]**を押しながら**[,]**を押します。



# トラブルシューティング

## 正常に動作しないとき

### ■ キー入力ができない、キーボードが動作しない / 動作が不安定

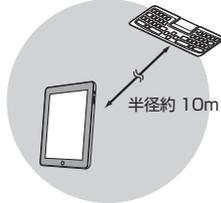
- ▶ 本製品の電源、接続機器の Bluetooth 機能または Bluetooth アダプタが ON になっていることを確認してください。
- ▶ 本製品と接続機器が正しくペアリングされているか、ペアリングが切れていないかなど、ペアリングの状況を確認してください。



ペアリング中は LED ランプが青色に点滅し、ペアリングが完了すると消灯します。

- ▶ 接続機器とキーボード本体の距離が離れすぎているか、接続機器が電波を受信できない方向を向いている可能性があります。接続機器の位置を調整するなどしてください。

- ▶ 本製品の動作範囲は、接続機器とキーボード本体が半径 10m 以内です。使用環境によっては、約 10m の範囲内でもキーボードが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、キーボードを接続機器に近づけてください。



- ▶ スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、キーボードの動作が安定するところまでキーボードを接続機器に近づけてください。
  - ▶ 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。
  - ▶ 内蔵電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「キーボードを充電する」(表面)を参照し、充電してください。
    - 内蔵電池の残量が少なくなると、LED ランプが赤色に点滅します。
- ※ キーボードを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

## スマートフォン利用時の問題

### ■ 着信前に留守番転送されてしまう

- ▶ 着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

### ■ 発信時に本製品が使えない

- ▶ スマートフォンから発信した後に、スピーカ / マイクを本体から Bluetooth レシーバーへ切り替える操作が必要な場合があります。操作方法は、スマートフォンの説明書をお読みください。

#### 【一般的な操作】

- iPhone4 の例 → 発信後、音声出力先に本製品を選択。
- Android の一例 → 発信後、Menu ボタンを押し、Bluetooth のボタンを押す。

## A V再生時の問題

### ■ オーディオファイルの音声聞こえない

- ▶ ファイルや Web サイトによっては Bluetooth でのオーディオ再生をサポートしていない場合があります。オーディオファイルをダウンロードしたサイトにお問い合わせください。

### ■ 動画の音声聞こえない

- ▶ スマートフォンの仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオ等の音声は Bluetooth では視聴できない場合があります。

## 内蔵電池の問題

### ■ 充電時に、LED ランプが点灯しない

- ▶ パソコンが起動していないときは、パソコンを起動させてください。
- ▶ パソコンがスタンバイモードになっているときは、パソコンのスタンバイモードを解除してください。
- ▶ パソコンの USB ポートの電力が不足している可能性があります。パソコンの USB ポートに接続している機器を取り外してみてください。

### ■ 所定の充電時間と比べて充電時間が長い

- ▶ 充電する場所の温度が高いか低い場合は、正しく充電できない恐れがあります。5℃ ~ 40℃の場所で充電してください。

### ■ 内蔵電池の使用時間が短い

- ▶ 完全に充電しても使用できる時間が短くなった場合は、内蔵電池の寿命です。

## 基本仕様

製品名	マルチデバイスタイプ Bluetooth® キーボード
製品型番	TK-MBD041 シリーズ
対応機種	<ul style="list-style-type: none"> <li>iPad2, iPad, iPhone4S, iPhone4, 第4世代 iPod touch</li> <li>iOS4.0以降にソフトウェアアップデートされた iPhone3GS, 第3世代 iPod touch(32GB/64GB)</li> <li>※iPhone3G, 第1・第2世代 iPod touchには対応していません。</li> <li>※iPad, iPhone では通話機能は使用できません。</li> <li>Bluetooth®HID プロファイル/A2DP/AVRCP/HFP に対応した Android 端末</li> <li>※動作確認機種は弊社ホームページをご覧ください。</li> </ul>
接続方式	Bluetooth 無線方式
適合規格	Bluetooth® 2.1+EDR Class2
プロファイル	HID(Human Interface Device) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HFP(Hands-Free Profile) ※本製品は Bluetooth の著作権保護機能 (SCMS-T) に対応しており、この機能を使用した携帯電話からの音楽再生にも対応しておりますが、一部携帯電話ではオーディオ出力をワイヤレスに切り替えられないものもございます。これは携帯電話の仕様ですので、あらかじめご了承ください。
電波周波数	2.4GHz 帯
電波方式	GFSK 方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など)：約 10m 磁性体(鉄の机など)：約 3m ※当社環境でのテスト値であり保証値ではありません。
キー数	42 キー
キータイプ	ボタン式
キーピッチ	7.5 mm
キーストローク	0.8 mm
外形寸法	W141.0 mm × D53.0 mm × H13.0 mm
動作温度 / 湿度	5℃～40℃ / ～90% RH(ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10℃～60℃ / ～90% RH(ただし結露なきこと)
対応電池	充電式リチウムイオン電池(本体内蔵)
電池容量	600 mAh
最大充電回数	約 300 回
充電時間	約 3 時間
動作時間	約 3 日 (充電完了後から使用する場合) ※弊社環境でのテスト値であり保証値ではありません。1日2時間を通話に割り当てた場合を想定した時間を算出しています。

## その他の機器で使用する

各種スマートフォンでの動作確認情報はこちらからご覧になれます。

QR コードを撮影してアクセスするか、URL を直接入力してアクセスしてください。  
<http://www2.elecom.co.jp/rd/taiou/index.html>



マルチデバイスタイプ Bluetooth<sup>®</sup> キーボード  
TK-MBD041 シリーズ  
詳細補足マニュアル  
2012年4月25日 第1版

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- iPad、iPod touch は、Apple Inc. の商標です。
- Bluetooth<sup>®</sup> ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。